



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年6月29日生まれ
- 出身地 松戸市常盤平
- 学歴
 - 昭和55年 常盤平第1小学校 卒業
 - 昭和58年 青山学院中等部 卒業
 - 昭和61年 青山学院高等部 卒業
 - 平成 2年 青山学院大学 経営学部経営学科 卒業

- 主な議会経歴
 - 松戸市議会議員 5期目
 - 松戸市監査委員
 - 教育環境常任委員長
 - 都市整備常任委員長
 - 予算審査特別副委員長
 - 決算審査特別副委員長 など

- その他の主な経歴
 - 中央学院大学 法学部 非常勤講師
 - 松戸市子ども会常盤平地区 会長
 - 松戸市立常盤平中学校PTA会長
 - 松戸青年会議所 常任理事

新市長となり初の議会開催 みのわ信矢は一般質問実施

本郷谷健次前市長の突然の辞職によって行われた松戸市長選挙において、元県議会議員の松戸たかまささんが当選をされました。そして、新市長の体制となって初めての議会が6月18日に招集され、市と議会の論戦の火ぶたが切って落とされました。みのわ信矢は市政に関する一般質問を行うため登壇を希望し、6月23日に議場にて発言をしています。

今回の定例会において、みのわ信矢が質問項目として設定したのは大きく3点です。その内容をご紹介します。

1. 常盤平団地の再生について

常盤平団地は、昭和35年に入居が始まってから、すでに65年が経過しています。高度経済成長の時代に醸成された同団地は、完成当しかし、現在ではいくつもの深刻な問題を抱える地域だといわざるを得ません。その最たる課題が、超高齢化した現状でしょう。現在の我が国の高齢化率は約29%で、本市の高齢化率は約26%です。それにたいして同団地ではなんと51%にも達しています。つまり、2人に1人以上が65才以上という実態です。衰退する団地を再生するには、建て替えをもって活性化する以外に方法

はありません。市に、使命感と覚悟をもって進めるよう強く求めました。

2. 学校部活について

いま、学校部活が転換期を迎えています。教師の労力軽減や多様化するニーズへの対応などのため、地域に部活動の運営を移行していこうとするものです。よりよい形での制度設計を要請しました。



3. 委託契約について

市が行う契約には、公平性や透明性が求められます。特定の委託契約を1社が独占していたり、限られた業者や法人への発注に偏っていたりすると、市民に疑念を抱かれると同時に、政策から活力が奪われます。公正な契約の実現を求めています。